

# 平成24年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名 就業支援課  
 担当名 中高年者就業支援担当

内線 4532

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B 1	ハローワーク特区推進事業			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	ハローワーク特区推進事業費		
事業期間	平成24年度～平成27年度	根拠法令	雇用対策法施行規則の一部を改正する省令			戦略項目分野施策	04 雇用の安心 020201 就業支援と雇用の拡大			
1 事業の概要	ラムザタワービル3階(武蔵浦和駅前)に県就業支援施設、ハローワーク等からなる総合的就業支援施設を設置する。  (1) 施設整備費 14,345千円 (2) 広報・運営費 15,247千円			5 事業説明 (1) 目的 地域主権改革のリーディングケースとして、ハローワーク浦和が県に移管されているのと同質的に同じ状況を作るハローワーク特区を活用し、地方移管のメリットを立証する取組を進める。  (2) 必要性 依然として厳しい雇用情勢の中、カウンセリングから就職まで地方主導による一貫した支援が求められている。  (3) 事業内容 ア 施設整備費 電気設備・電話・パーティション・LAN工事、案内表示板設置、什器等 14,345千円 イ 広報・運営費 中高年就職支援キャリアカウンセラー2名、案内整理員3名、広報活動(オープニングイベント、ポスター、リーフレット等) 15,247千円  (4) 事業計画 ア 県就業支援施設 開設時には中高年就職活動支援コーナーを設置し、来年度にヤングキャリアセンター、女性キャリアセンターのサービスを開始する。 イ ハローワークコーナー 職業紹介やマザーズコーナーからスタートし、来年度以降、順次雇用保険や求人受付等のサービス開始を検討する。 ウ その他 仕事と住まいを共に失った人を支援する「生活・住宅相談」をさいたま市等と連携して実施するほか、介護など福祉分野に特化した「福祉人材就職コーナー」を設置し、求職者の多様なニーズに的確に応える。  (5) 施設概要 ・名称 : ハローワーク浦和・就業支援サテライト(通称:埼玉版のハローワーク) ・開所 : 平成24年10月27日(土) ・利用予定時間: 月曜日～金曜日 10時～19時 土曜日 10時～17時 (ハローワークコーナーは月曜日～金曜日)						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×5人=47,500千円 就業支援課就業相談担当(中高年) ・WithYouさいたまからラムザへ移転(主査1、担当2) ・副課長1、主査1を増員(計5人体制)									
補正要求額・審査額	使用料・手数料	繰入金					一般財源	補正後の予算額	当初予算額	現計予算額
決	29,592	1,521	10,589				17,482	29,592		
要	29,592	1,521	10,589				17,482	29,592	うち一財	うち一財
現	0									

**【審査の考え方】**

ハローワーク特区を活用することでハローワークと県のサービスを一体的に提供し、地方移管のメリットを立証する必要性を認め、要求額を措置した。